

農林業系廃棄物試験焼却結果のお知らせ

平成30年3月から11月までに仙南クリーンセンターにおいて実施した、放射性セシウム濃度8,000Bq/kg以下の農林業系廃棄物試験焼却の結果についてお知らせします。

① 受入実績

項目		第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール
放射性セシウム濃度	Bq/kg	～100	～400	～1,000	～4,000	～8,000	
混焼廃棄物		白石市	角田市	角田市	蔵王町	川崎町	白石市
		ほだ木	堆肥	牧草	牧草	稲わら	ほだ木
受入期間		3月19日 ～3月23日	4月23日 ～4月27日	7月23日 ～7月27日	8月27日 ～8月31日	10月1日 ～10月5日	11月5日 ～11月9日
混焼期間		3月20日 ～3月24日	4月24日 ～4月28日	7月24日 ～7月28日	8月28日 ～9月1日	10月2日 ～10月6日	11月6日 ～11月10日
検証期間		3月26日 ～4月13日	4月30日 ～5月18日	7月30日 ～8月17日	9月3日 ～9月21日	10月8日 ～10月26日	11月12日 ～11月30日
受入量	t	4.71	4.76	4.81	4.87	4.81	4.92
		合計 28.88					
受入濃度	Bq/kg	38.1 ～70.8	172.2 ～310.5	417.3 ～981.6	2,483.3 ～3,476.1	4,241.4 ～7,533.4	4,506.5 ～6,650.8

○混焼期間：家庭ごみと農林業系廃棄物を均一に混合し、焼却を行った期間

○検証期間：放射性セシウム濃度等のデータを確認、検証する期間

② 煙突排ガスの放射性セシウム濃度測定結果

【Bq/m³】

環境管理基準値	クール	混焼期間				検証期間			
		1号系		2号系		1号系		2号系	
3か月の平均値が次式を満足すること。 $\frac{\text{セシウム134濃度}}{20} + \frac{\text{セシウム137濃度}}{30} \leq 1$ ※放射性物質汚染対処特措法施行規則の規定に基づく	第1クール	3月22日	不検出	3月22日	不検出	4月13日	不検出	4月13日	不検出
	第2クール	4月26日	不検出	4月26日	不検出	5月18日	不検出	5月30日	不検出
	第3クール	7月26日	不検出	7月26日	不検出	8月10日	不検出	8月17日	不検出
	第4クール	8月30日	不検出	8月30日	不検出	9月21日	不検出	9月21日	不検出
	第5クール	10月4日	不検出	10月4日	不検出	10月26日	不検出	10月8日	不検出
	第6クール	11月8日	不検出	11月8日	不検出	11月16日	不検出	11月30日	不検出

③ スラグ及び固化灰の放射性セシウム濃度測定結果

【Bq/kg】

クール	スラグ			固化灰		
	環境管理基準値	混焼期間	検証期間	環境管理基準値	混焼期間	検証期間
第1クール	100 Bq/kg以下 ※「東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理に関する基準等」に基づく	27	27	1,758 Bq/kg以下 ※過去に埋め立てた焼却灰等の平均 958 Bq/kg + 県の方針による 800 Bq/kg	453	367
第2クール		47	44		586	660
第3クール		45	34		568	604
第4クール		40	38		528	561
第5クール		73	63		732	586
第6クール		63	41		826	788

○スラグ：ごみを高温で焼却することに伴い発生するガラス質の人工砂

○固化灰：ごみを焼却した後に出る飛灰を、薬剤処理し固化したもの

④ 仙南クリーンセンター敷地境界（土壌）の放射性セシウム濃度測定結果

【Bq/kg】

環境管理基準値	採取位置	試験焼却前		試験焼却後	
		採取日	測定結果	採取日	測定結果
放射性物質汚染対処特措法等に基づく基準値なし	東（造成地）	平成29年 10月26日	10.8	平成30年 11月14日	10.0
	西（地山）		56.9		153.0
	南（造成地）		27.8		20.0
	北（造成地）		4.6		6.8

○農林水産省通知に基づく肥料・土壌改良資材・培土中の放射性セシウムの暫定許容値は400 Bq/kg以下

○西側の採取位置は地山(自然の地盤)、その他は施設建設時に盛土を行っている造成地